

この月経は異常でしょうか？

(更年期編)

40歳代後半から50歳代前半の方

子宮からの出血がすべて「生理（月経）」ではありません。
40歳代後半からは卵巣の機能低下がはっきりと症状として出てくる可能性があります。
皆さん、ご存じの「更年期」です。

まず、更年期とはどういう時期かを考えてみましょう

卵巣の働き（寿命）は、それぞれの女性で異なります。「妊娠する力」でみると35歳くらいから低下し始めますが、更年期の最初の症状である「月経の異常」は45歳くらいから見られ始めます。卵巣の働きが低下するということは、右に示すエストロゲン特有の働きが低下してくることであり、さまざま症状（不定愁訴）を自覚することになります。

卵巣ホルモン(エストロゲン)の働き

生殖器：月経周期、妊娠、出産、膣の自浄（じじょう）作用
乳房：ふっくらとした形を保ち、発達させる
皮膚：コラーゲンを増し、はりのある肌をつくる
骨：骨代謝に関わって、骨を強く保つ
循環器・脂質代謝：心臓や血管の病気に
かかりにくくする
脳：脳細胞の機能を維持する

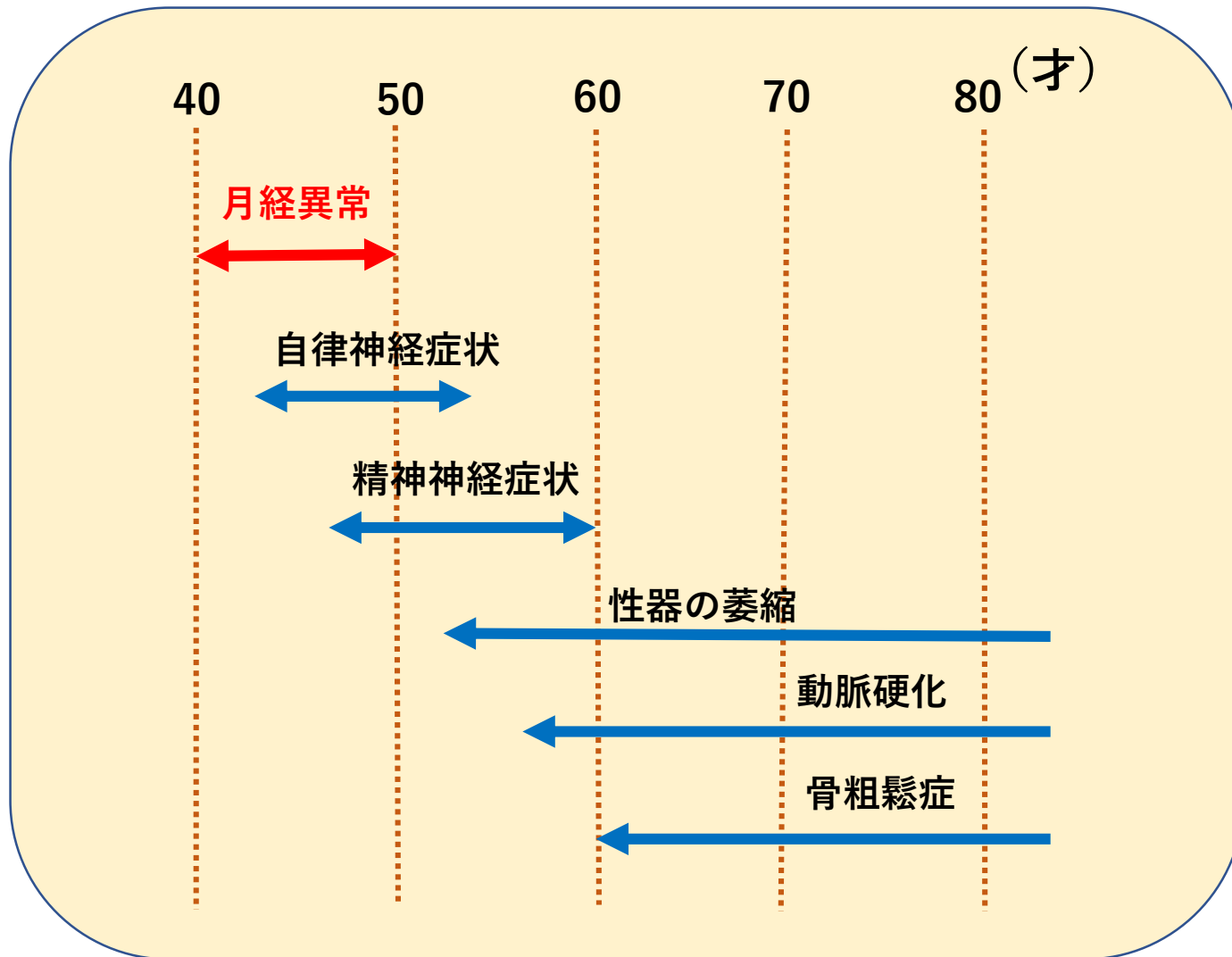
エストロゲンの
欠乏症状



更年期以降にみられる症状

月経異常 自律神経失調
精神神経症状 動脈硬化
性器の萎縮（いしゅく）
骨粗鬆症（こつそしょうしょう）

エストロゲン欠乏症状の出現時期



(産婦人科ベッドサイドマニュアル・医学書院 より引用)

更年期の症状は
全て同じ時期に始まるわけではありません。
また、女性全員が経験するものでもありません。

典型的には40歳代から徐々に始まり、
「月経異常」を自覚することが最初です。

そして、平均50歳で「閉経」を
迎えます。

閉経とは・・・丸1年間以上、月経がない状態



更年期の月経異常には、このようなパターンがあります

正常月経周期（ほぼ月1回の月経）



頻発（ひんぱつ）月経
月経周期が25日以下に短縮
月に2回の月経



無排卵出血（機能性出血）
月経より少ない不規則な出血が続く



稀発（きはつ）月経
2～3カ月に1回の月経



閉経

重要

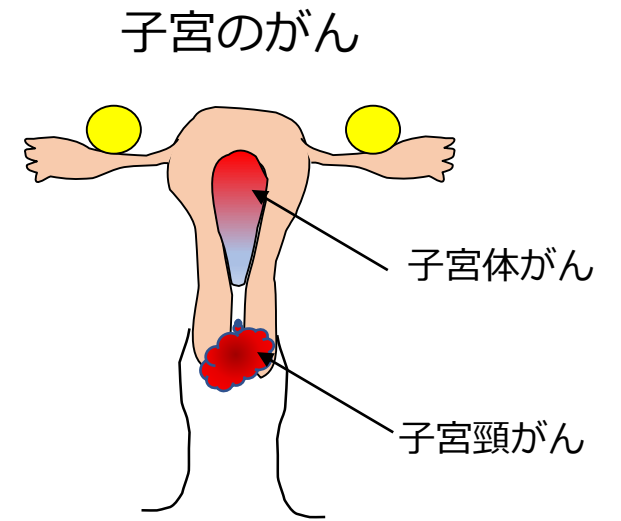
この期間が「更年期」であり、閉経に向かって色々な子宮出血が見られます。普通に起こることなのですが、この時期には**子宮内膜異型増殖症（前がん病変）**や**子宮体がん**が隠れていることがありますので、月経がこれまでと違ってきたら、一度は産婦人科を受診されることを強く、お勧めします。

- (ケース1) 順調だった月経が不順になってきた。頻繁（ひんぱん）に出血がある。
(ケース2) だらだらと少量の出血が続いている

更年期のころに見られる卵巣の働きが衰えてきた場合に見られる月経異常の可能性ががあります。月経異常はまず、**月経の間隔が短くなること**から始まります。つまり月始めと月終わりの**2回**、月経が見られるようになります。正常な変化と考えますが、時には、ホルモンの働きが不十分なために子宮内膜がうまくはがれず、病的な変化をおこしている場合があります。子宮内膜の検査をした方が良いかもしれません。**子宮内膜増殖症や子宮体がん**を否定するために、超音波検査や子宮内膜細胞検査を実施します。

注目👁️ (ケース3) だらだらと少量の出血が続いている。
食欲がなく、倦怠感が強い

更年期のころの子宮からの出血の可能性が高いですが、念のため**妊娠でないかどうか**も考えます。倦怠感などの体調不良が更年期障害ではなく「**つわり**」の場合もあります。（実際に40歳代でそのような方がいます！）



子宮頸がんの検診を数年間受けていない方は、早めに産婦人科を受診しましょう。
子宮頸がんでないかどうか心配されます。

この出血は異常でしょうか？

(閉経編)

50歳代後半以降の方

閉経したあと（1年以上なかった）の出血。
月経が戻ってきたと思ってはいけません！

(ケース4) 月経がなくなって1年以上経過していたが、
下着に血液が付いていた

それは月経と考えるはいけません。不正出血ですので、産婦人科で検査が必要です。**子宮体がん**でないかどうか調べます。がんでない場合もありますので、ご安心ください。非常に少ない出血量なら、加齢によるホルモン減少に伴う腔（ちつ）の炎症性出血（**腔炎**）の可能性もあります。

また、肛門や尿道口（おしっこの出口）からの出血の場合もあります。ご自身でわからなければ、**外科や泌尿器科の受診も**考えてください。

注目

腔（ちつ）の自浄作用

腔粘膜にグリコーゲンがある



腔の乳酸菌

グリコーゲンから乳酸をつくり
酸性のおりものにする
ことで雑菌の増殖を防ぐ

この重要な仕組みは
エストロゲンと関係があります。
閉経から時間がたつにつれ、
この作用は低下し、
腔炎がおりやすくなります。